

(2) 授業DX研究会 (中学校)

会 長 大橋 更三 (西土佐中学校)

副会長 田村 悟 (中村西中学校)

事務局 濱田 和穂 (中村中学校)

1. 研究主題 「ロイロノートの効果的な使い方」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和7年 5月7日 (水)	四万十市教育研究会 組織総会 内容：役員選出、研究主題設定、年間計画	中村中学校 (美術室)	25名参加
令和7年 8月1日 (金)	四万十市教育研究会 夏季研修会 内容：効果的なタブレット端末の活用について 講師：株式会社LoiLo 小木曾 真衣 様 野村 悠 様	中村中学校 (図書室)	21名参加

3. 四万十市教育研究会 夏季研修会

今年度の研修では昨年度に引き続き、学習共有ツール（ロイロノート）のより効果的な使用方法に加え、具体的な活用方法について研究を進めていくこととなった。昨年度好評だったこともあり、今年度も株式会社LoiLoにお願いをして、リモートで研修を行った。

研修会の中では、講師の方が教師目線と生徒目線での操作画面を切り替えながら、丁寧に説明を行ってくれた。シンキングツールや共有ノートの具体的な使い方や活用方法についての説明では、授業のどのような場面で使うことが効果的か、実際に演習をする時間もあり、参加した教員同士で意見共有をしたり考えを深めたりする場面もあった。

また、新機能や素材ライブラリなど日々の授業作りの参考になるヒントをいただくこともできた。研修の最後には質疑応答の時間もあり、各教員の困り感や疑問についても丁寧に回答をいただき、ICTを日々活用している教員にも、苦手意識がある教員にも学びがたくさんある時間となった。

4. 今年度の成果と課題

【成果】

- ・演習をすることで、不慣れな教員にとっても、ロイロノートを活用する入口となる研修会になった。
- ・昨年度よりもより具体的な場面についての説明が多く、日々の授業や研修などをイメージしながら、研修を受けることができた。

【課題】

- ・研修会に参加した教員と参加していない教員がいるので、どのような内容でお願いするのか困る場面があった。
- ・県立中村中ではロイロノートは導入されていないため、県立中村中の教員には、学びは少ないように感じる。来年度以降、題材をロイロノートで継続していくかは、考える必要がある。